

揺れる北の大地 るもいの血潮が騒ぎ出す

第11回 やん衆 どすこほい祭り

3月5日(土)▶6日(日)



やん衆どすこほい祭り
実行委員会
常任幹事長
小川雅裕さん

初めての大会に緊張して
います。もともと祭り好き
な私ですが、今度は見に行
く立場から多くの人に見
てもらおう立場になり、正
直言って不安です。

今までは青年会議所のメ
ンバーとして、会場の手伝
い、警備、子供たちの遊び
場などを担当しました。今
回は常任幹事長として全体
の流れを把握しなければな
りません。先輩たちからい
ろいろと教えていただきな
がら一生懸命やります。

全国的に不況の時代とな
りましたが、祭りの気運を
高め沈んだ気持ちをやん衆
の氣勢で吹き飛ばしたいと
思っています。

準備は昨年比べ一ヵ月
程遅れていますが、実行委

衆の姿」。昔を再現するこ
とができました。

ほかにもやん衆ちゃん人
形を作っていたいただいた方な
ど多くの方のご協力をいた
だいております。

催しの紹介

- 5日(土)
 - 前夜祭
 - やん衆小町
 - コンテスト
 - 海王代儀式
 - (御神水の儀)
- 6日(日)
 - やん衆ばんばレース
 - 海鮮バザール
 - 留萌鮭まつり
 - 大浜鍋

ちよつとお耳に!!

2月24日(木)午前11
時50分頃、NHK旭
川で放送されます。
担当の桑原アナウン
サーから紹介されま
す。

この記述にあたって協力と
援助をいただきました。

◎稲垣富雄さん

やん衆どすこほい祭りに
なくてはならない鯨船。
この企画を聴いた稲垣さん
「世話になった留萌だ、そ
れほど真剣に若者が考えて
いるなら留萌のために自分
の最後の仕事をしよう。」
と商売を度外視した制作費
で請け負ってくれました。

やん衆小町

祭りを盛り上げる上で、
「やん衆ばんば」が壮大な
ら「やん衆小町」はそれに
添える花。売出し加盟店で
千円お買い上げごとに投票
券一枚を受け取る。この投
票券に候補者の名前を書き
投函し、その投票数で上位
十名が選出され、前夜祭で
行われる第二次選挙会の最
終審査で決定する。

強力な協力

◎後藤秀雄さん
この祭りは留萌の昔に焦
点をあて、この中から祭り
を再現することになった。
その原点となるのが「春告
魚と留萌」の発刊である。

レースは体力気力を一気に
吹き出す。その迫力には観
衆も手に汗を握る。また、
勝ち船投票券も魅力の一つ
だ。

御神水汲み

本祭りの会場で大浜鍋に
大海を移す儀式である。「御
神水」は神社を出発した下
帯び一枚の若者八名が「ど
すこほい」の掛け声とも
に静かに海に入っていく。海
水を海から汲み上げる。そ
の海水が神社に奉納され
「御神水」となる。

神事をつくる

(海王代儀式)

留萌は海の恩恵を受けて
存在するまちである。かつ
て鯨漁で生まれ栄え、現在
も鯨漁の遺産をもとに発展
し、将来も海洋都市として
発展しようとしている。こ
の留萌を生んだ海こそ「ど
すこほい祭り」の神である。
そして、この海の神の名を
「海王」という。「海王代」
は海王の使いで神と人間を

祭りの誕生

ニシン漁業発達の影には、
未開寒の大地に沿岸の開
拓にはげんだ漁場主の壮大
な気概と努力があった。内
地からやん衆として渡身を
挺して漁労にはげんだ男の
ど根性があった。この先人
の血のにじむ努力を改めて
見直すために、その実態を
調査し、郷土の歴史を再現
するロマンある祭りを考え、
ネーミングを「やん衆どす
こほい祭り」とした。祭り
のメインイベントは昔の杵
船を七船つくり雪上を曳い
て競争する力量あふれる
「やん衆ばんば」とした。

やん衆ばんば

実物の鯨船を一チーム
九名の力で一〇〇mの距離
を引っ張って速さを競う
レース。各レース七チーム
ごとに出走。船は各レース
ごとに、七〇〇kgから八〇
〇kgの重さとなる。船頭が
船尾を押し、残る選手は二
本のロープを引っ張る。